

側溝蓋用埋設型枠
「KCフォーム」
建技審証0329号

1.技術の概要

「KCフォーム」は、既設の道路用側溝の蓋を現場打ちコンクリートで製作する際に捨て型枠として用いられるもので、耐アルカリガラス繊維で補強した工場製作のセメント（GRC）板である。「KCフォーム」は、側溝の蓋掛り部に落とし込むだけで型枠として使用できる。薄くて軽量で取り扱いが簡便であり、かつ、型枠として必要な強度と剛性を有する。また、コンクリートが硬化した後は、「KCフォーム」とコンクリートは強い付着力で一体となり、鉄筋のかぶりの一部としての機能を果たす。

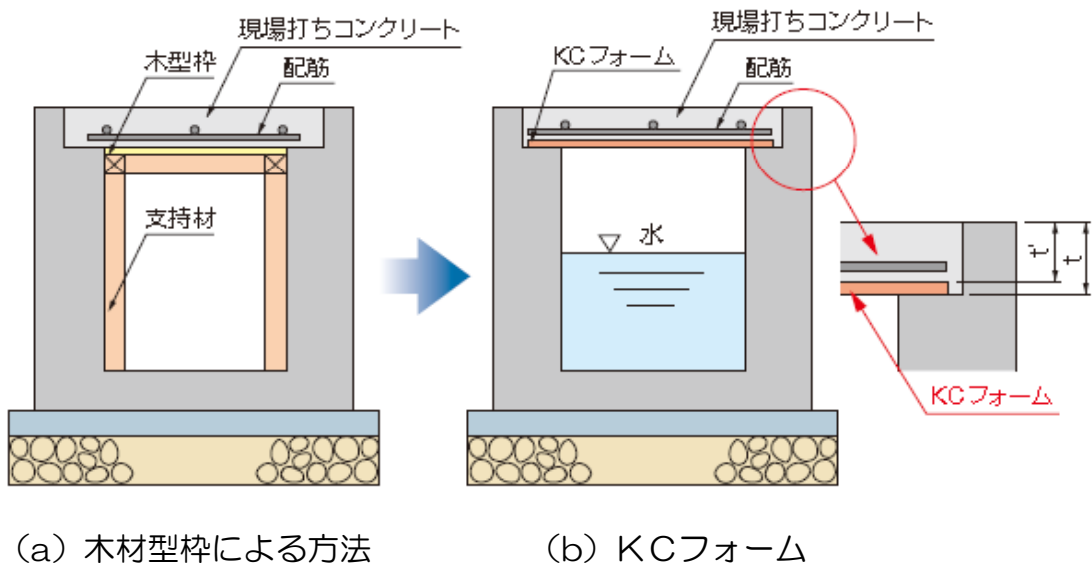


図-1. 1 KCフォームの概要

2.技術の特徴

◎施工性に優れる

施工が容易（支持工事不要）で、しかも通水中でも工事が出来るため、他の暗渠化工法と比較して工期が短縮できる。

◎高い曲げ強度と剛性

素材にGRCを使用している為、高い曲げ強度と剛性を持っており、又、ダイヤモンドカッターによる現場加工も容易である。

◎コンクリートとの付着がよい

コンクリートとの付着が良く、コンクリート蓋の鉄筋かぶりの一部として機能し、側溝と一体化されることにより、落蓋等で発生する振動音を防止できる。

3.審査証明の結果

- ・「KCフォーム」による型枠敷設工は、木材型枠を使用する従来工法に比べ、熟練技能を必要とせず、かつ施工が大幅に簡便化される。
- ・「KCフォーム」は側溝用蓋の型枠として必要な強度と剛性を有する。
- ・「KCフォーム」を用いた鉄筋コンクリート蓋は、曲げ荷重を受けたときKCフォームとコンクリートが一体として機能する。
- ・「KCフォーム」を用いた鉄筋コンクリート蓋は、従来の現場打ち工法と同等あるいはそれ以上の鉄筋防食防止機能を有する。

4.技術の適用範囲

一般的な形状・寸法からなる道路側溝の蓋を現場打ちコンクリートで製作する際の捨て型枠として使用する範囲とする。

5.主な実績

平成26年：武岡原良線道路改良工事等総数12,406件
平成27年：粕屋町原町5丁目土地区画整理事業2等総数12,743件
平成28年：片岸地先海岸災害復旧工事等総数13,647件
平成29年：一般府道榎尾山仏並線道路補修工事等総数13,242件
平成30年：東那珂1970号線外4路線道路改良工等11,403件

6.技術保有会社

インフラテック株式会社

本 社：鹿児島市与次郎2丁目7番25号

電話番号：099-252-9911

7. 審査証明実施機関

一般財団法人 土木研究センター

8.審査証明期間

2004年 3月31日

2009年 3月31日 内容変更・更新

2014年 3月31日 内容変更・更新

2019年 3月31日 更新